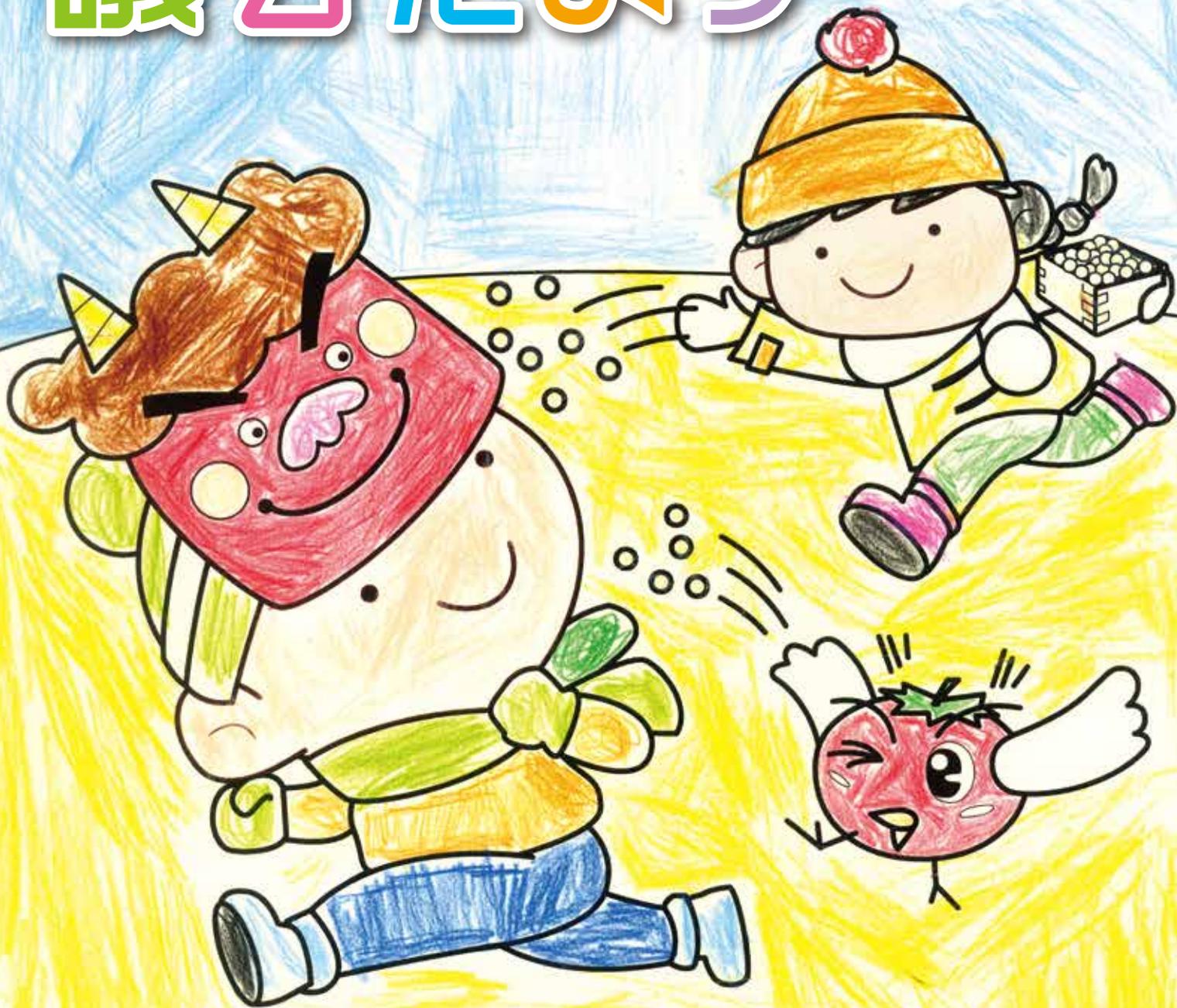


# きそさき 議会だより

VOL. **90**  
2017  
平成29年2月1日発行



今回の表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園  
たけこし うみさん  
の作品

## おもな内容

- 第4回定例会 **2~4**
- ここが聞きたい【一般質問】 **5~10**
- 議会日誌 **11**
- 行政報告 **12~13**
- 議員トピックス **14~15**



平成28年第4回木曾岬町議会定例会は、12月7日から15日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、平成28年度の各会計補正予算案件4件、条例改正案件6件、協議案件1件、町道廃止1件、変更契約1件、合わせて13件の議題を審議しました。

会期日程の議事の内容は次のとおりです。

10日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告を受け、その後、議案12件を上程し、町長の提案理由説明と所管課長の詳細な説明を受けた後に散会しました。

13日には、一般質問が行われ、5名の議員が質問に立ちました。(その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照)その後、議案の質疑を行い散会しました。

15日の最終日には、初日に上程された議案12件について、討論・採決を行い、全議案ともに全会一致で原案のとおり可決しました。次に、追加議案1件が上程され、町長の提案理由説明、事務局の詳細説明の後に続いて、質疑・討論・採決を行い、全会一致で原案のとおり可決しました。次に、意見書関連議案1件が提出され、国に対して意見書を提出することを可決し、第4回定例会は閉会しました。

# 平成28年 第4回 木曾岬町議会 定例会

## 議事内容

### 可決した議案 ◎執行部提案

議件名（議案の内容）

■議案第66号  
木曾岬町立福祉・教育センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
※木曾岬町立福祉・教育センターの管理の一部を公共的団体に委託することについて規定し、併せて使用料の減免規定及び施設の使用に関する事項を整理するために本条例を改正するものです。

■議案第67号  
木曾岬町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
※一般廃棄物の処理に係るごみ袋の規格及び消費税の取扱い等を、桑員地区三市町（桑名市・東員町・木曾岬町）で統一することに伴い、本条例を改正するものです。

■議案第68号  
三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び三重県市町公平委員会共同設置規約の変更に  
関する協議について  
※平成28年3月31日をもって松坂飯多農業共済事務組合及び伊勢地域農業共済事務組合が解散し、三重県市町公平委員会から脱退することに伴い、当該公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少により、三重県市町公平委員会規約を変更することについて協議するものである。

■議案第69号  
木曾岬町道の路線廃止について  
※現在管理する木曾岬町道の内、和泉内部線において管理区分を変更する必要が生じたため、路線廃止を行うものです。

(最終日)

◎執行部追加議案

■議案第70号  
木曾岬町複合型施設建設工事変更契約について  
※複合型施設建設工事に於いて、工事に変更が生じたために変更契約を行ないまた、予定価格5,000万円以上の工事又は製造の請負業務契約は法第96条第1項5号の規定により議会の議決が必要なため、提出された議案です。

◎発議

■発議第6号  
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について  
※国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く国へ要望するための意見書です。

※全議案ともに全会一致で(原案のとおり)可決されました。

議件名（議案の内容）

(初日)

◎執行部議案

■議案第58号  
平成28年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第4号)について  
※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ9,000千円を追加し、予算総額を4,634,000千円とする補正予算です。

■議案第59号  
平成28年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について  
※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ46,507千円を減額し、予算総額を970,856千円とする補正予算です。

■議案第60号  
平成28年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について  
※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ264千円を追加し、予算総額を115,264千円とする補正予算です。

■議案第61号  
平成28年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算(第2号)について  
※既決予算額の総額から歳入歳出それぞれ17,458千円を減額し、予算総額を466,871千円とする補正予算です。

■議案第62号  
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
※平成28年の人事院勧告により、町長等の期末手当の支給割合を変更するものです。

■議案第63号  
木曾岬町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について  
※平成28年の人事院勧告により、一般職の職員の給与に関する法律等が改正されたため、これに基づく木曾岬町職員の給与に関する条例、職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び木曾岬町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するものです。

■議案第64号  
木曾岬町税条例等の一部を改正する条例の制定について  
※地方税法等の一部を改正する法律並びに所得税法等の一部を改正する法律により、本町税条例等の一部を改正するものです。

■議案第65号  
木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について  
※木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金への新たな寄附を受けるため、これに基づく同条例の一部を改正するものです。

## 議案質疑

(質疑が行われた議案に関して、  
主な内容を紹介します。)

### 議案第69号

#### 木曾岬町道の路線廃止について

この議案に対する質疑は

**質問** この道路の必要性の意味合いは？

**回答** 元来からそこについては、中部保育園ができる  
ときからの位置づけになってございますことを  
御理解いただきたいと思っております。

### 議案第70号

#### 木曾岬町複合型施設建設工事変更契約について

この議案に対する質疑は

**質問** 石積みの擁壁でゴロタ石を玉石に変更になりま  
したけれども、その理由は？

**回答** 玉石積みからゴロタ石ということで一度変更し  
たものの、やはり歴史風土を残していきたいと  
いう思いから再度玉石積みに変更をさせていた  
だきました。



**質問** 電波障害の事前調査とあるが付近から苦情が出  
ているのか。

**回答** 電波障害は電波障害が出てからでは原因者が特  
定できないということがありますので、そのた  
めの事前調査です。

**質問** トイレ呼び出しシステムについて、緊急安全呼  
び出しシステムの合理化アップとはどんなよう  
なものか。

**回答** 多目的トイレの呼び出しの件については、トイレ  
の呼び出し用インターフォンを付けさせて頂  
き、安全なトイレの利用というようなことで整  
備をさせていただきました。

### 議案第58号

#### 〔平成28年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正 予算(第4号)について〕

この議案に対する質疑は

**質問** 衛生費、環境衛生費、火葬場運営事業費、80万  
円の増額について

**回答** 火葬炉内の耐火物と台車の修繕を行うものです。

**質問** 農林水産業費、農業振興費、農地中間管理事業費、  
300万円の減額について

**回答** 今年度の集積実績が定まりましたので、減額を  
するものです。

**質問** 教育費、中学校費、修繕費、44万5千円の増額に  
ついて

**回答** 玄関吹き抜けの高窓修理のために増額するもの  
です。

**質問** 農林水産業費、農業委員会費、備品購入費、  
54万円の増額について

**回答** 農地ナビ情報システム運用のための専用端末機  
1台を購入するための経費を増額するものです。

**質問** 消費費、消防施設費、修繕料、50万円の増額に  
ついて

**回答** 第4分団の消防ポンプ修理と防火水槽の転落防  
止網の修繕をするために増額するものです。

**質問** 総務費、戸籍住民基本台帳費、個人番号カード  
申請現状について

**回答** 個人番号申請件数643件内住民の方へ交付件数  
は10月末現在442件の現況です。



1111が  
聞きたい

# 一般質問

この記事は、通告順に掲載し、  
質問議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、  
一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録(北部公民館にて公表で  
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

## 5名の議員が質問

ページ数 **6** — 7番議席 伊藤 浩議員

● 町長の今後の町政への考えは

ページ数 **7** — 1番議席 服部美二夫議員

● 幼稚園・保育園統合における送迎・安全確保に  
ついて

ページ数 **8** — 9番議席 伊藤 正議員

● 工業・商業の振興について  
● 介護予防日常生活支援事業について

ページ数 **9** — 2番議席 伊藤 守議員

● 道路について  
● 環境美化について

ページ数 **10** — 5番議席 三輪一雅議員

● 木曾岬町の人口ビジョン・総合戦略について

Q&A





7番議席 伊藤 浩 議員

# 町長の今後の町政への考えは

## 来年の町長選に出馬表明

町長

### 質問

加藤町長は2期7年半が過ぎ残り半年余りになりましたが、公約は十分達成出来たとお考えでしょうか。

また、今後の町政について、来期に向けてどの様にリードされて行かれるおつもりか、重要課題など考えはありますか。

### 答弁

行政は町民の皆さんの暮らしや命を守り、町を守る事が第一であり、高潮堤防の耐震工事、河川防災ステーションあるいは排水機場、津波避難施設等の整備促進を図ると共に当町の防災拠点となる複合型建設推進に町民の皆さんの温かい御支援や御協力を賜わりながら防災対策を最優先に全力で取り組んでまいりました。長年放置されていた、木曾岬干拓地にメガソーラー発電事業によりまして、待望の木曾岬

干拓地の土地利用の第一歩が始まりました。県道バイパスが開通をし、河川防災ステーションや複合型施設の新庁舎など、いずれも木曾岬町の新しい町の姿や新しい魅力が誕生するなど、主要事業を着実に実現することができました。我が国が人口減少や少子高齢化が進む中、未来に向かって木曾岬町を展望し、町民誰もが、いつまでも安心して暮らせることができる魅力あるまちづくりを目指して参りました。町民の皆さん、議員の皆さん、それぞれの皆さん方に力強いご支援ご協力を頂きながら、長年の念願が実現出来たり、達成した施策など数多くの成果や結果を出すことができましたが、しかしながら、一方では、津波避難施設を初め防災対策や複合型施設など、それぞれ現在進行中で計画半ばの事業もございま

す。私自信こうした施設事業を着実に実現、達成して、町民の皆さんの負託やご期待に応えさせていただきたいと考えております。今後は、人口減少や高齢化社会を見据え地方創生、まち・ひと・しごと総合戦略など

新たな施策を柱として新しい時代に向かって安全安心な明るい住み良い元気な町づくりを目指して、引き続き、木曾岬町発展のため全身全霊をかけて頑張つてまいります。決意を新たにいたしているところです。



新 庁 舎

# 一般質問



1番議席 **服部英二夫** 議員

## 幼稚園・保育園統合における送迎・安全確保について

最善をつくして、園の運営を図ります 町長

### 質問

平成30年4月からの南部幼稚園・保育園を中部幼稚園・保育園へ統合するための準備が進められています。広報のアンケート結果では、通園距離・行事開催時の駐車場、運動場の広さが問題に挙げられています。送迎においては中和泉から小和泉、見入へ抜ける道路は、センターラインもなく、対向も危ないと思われる。園付近の水路側はガードレールもなく、大変危険です。また、駐車場内に避難タワーの計画もあることから、園周辺の道路整備や駐車場整備などが必要だと思えます。また、送迎ができない方への対応もお聞きしたい。

### 答弁

中部幼稚園・保育園では、津波避難施設を中部幼稚園・保育園の駐車場敷地を活用し、来年度の整備ができるように、作業を現在進めています。従来

から、木曾岬町の未来を背負う子どもたちです。で、十分な安全を確保したい。うえで統合に向かって頂



中部幼稚園・保育園道水路

からの行事の時は、近隣の寺院の駐車場を借用しています。統合後も寺院の駐車場を借用すれば現状でおさまる見込みです。しかし、統合後の現状を踏まえ最善を尽くします。道路整備においてには拡張などには多額

の費用がかかります。まず、安全対策として道路標示、看板設置、道路幅員確認のための外側線の設置、園付近の水路側転落防止策としてはガードレールか転落防止柵の設置を考えています。車での送迎が出来ない

保護者の方はファミリーサポート等を利用、活用しての送迎か自主運行バスの利用等について検討していきたいと考えております。

### 再質問

行事時における警備会社の利用、輪心乃里から幼稚園・保育園に抜ける道は特に道路幅が狭くすれ違いが難しいので送迎時間帯だけでも一方通行にしてはどうか。また、自主運行バス利用の方の料金はどうなりますか。

### 再答弁

星野福祉健康課長

今年度の運動会開催時には父兄の役員をお願いして駐車場の整備に当たってもらいましたが、人数が増えた場合には警備の方の利用も検討します。また、自主運行バス利用の方においては車で送迎される方も経費が掛かりますので、不公平感のない様にします。周辺の道路においては、保護者の方への周知を十分にし、地元で御迷惑をかけないように進めていきます。

# 工業・商業の振興について

## 特産品の高付加価値化産業推進

町長



9番議席 伊藤 正 議員

### 質問

町内の企業からは不景気であるとの声もあり町の振興策についてお聞きします。

桑員地域活性化協議会における当町の成績はどのようになっていますか。

また、今後の町振興策は航空宇宙クラスター特区に町内の企業が指定され協議会の構成員となっておりませんが協議会での情報はどうなっていますか、特区のメリットを生かして産業振興を図るべきではないか。

### 答弁

この協議会では、2市2町の産業集積の活性化のため、5カ年の桑員地域産業活性化基本計画を策定し、公表をさせていただいております。桑員管内の粗付加価値額の計画目標に対する実績であると思えます。この実績数値の諸元は、平成26年工業統計調査結果を反映したものでございます。平成28年度末の計画目標5%を大きく上回る26%増となっております。基本計画に位置づける地域資源等活用型産業を旨として、トマトや米、あるいは

海苔などの町の特産品の高付加価値化産業との集積も推進するなど、産業振興を図っていききたいと考えております。

特区の指定を受けた企業の優遇措置としては、事業拡大に伴う利子補給制度や特別償却、法人税の減税措

置が受けられ、さらに、町条例で制定すれば、工場立地法に基づく緑地規制の緩和も受けることもできます。



## 介護予防日常生活支援事業について

### 住民主体による支援など、多様なサービスを行っていく——町長

国は、平成29年度より程度の軽い要支援の人への在宅訪問サービス、通所介護サービスを市町村の介護予防・日常生活支援事業に移行していくとして

います。町の対策としてお聞きします。

住民主体の支援とはどのような計画なのでしょう。今後、ふれあいサロンやデイサービスの提供日について、平日は毎日実施し、時間の延長も考えてはどうか。24時間365日提供体制

の確立について、具体的な計画はどのような計画になっているのでしょうか。以上についてお聞きしたいと思います。

### 答弁

平成29年度から要支援1、2の方等の訪問介護及び通所介護は、介護予防給付から新しい総合事業に移行をいたしてまいります。具体的には人員等の基準を緩和した現行サービス相当分を住民主体による支援など、多様なサービスを行っていきます。

その一つに、シルバー人材センターを活用した家事の支援を予定しており、引き続き多様なサービスの開拓に取り組みたいと考えております。

ふれあいサロンについては、利用者は比較的元気な高齢者でございますことから、サービス提供者である町社会福祉協議会や利用者の意見等もお聞きをしながら、今後進めてまいります。

24時間365日提供体制は、桑名市と共同で実施をすることとしており、在宅医療・介護の提供体制の確立については、今後、取り組んでいくこととなります。

また、緊急時のルールづくりや、後方支援ベッドの確保、主治医・副主治医体制の整備などがございまして、地域の医療、介護の関係者の協力をいただきながら、緊急時の連絡体制も含めた在宅医療・介護の提供体制の整備に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく御理解のほどをお願いいたします。

# 一般質問



2番議席 **伊藤 守** 議員

## 町道の安全対策について

粘り強く進めていく

町長

**質問** 川先弘法池バス停から川先バス停の区間の歩道が途中から切れています。この区間は大型車両も多く危険なところですので歩道を付けるなど安全対策のお考えをお聞きします。

**質問** 川先弘法池バス停から川先バス停の区間の歩道が途中から切れています。この区間は大型車両も多く危険なところですので歩道を付けるなど安全対策のお考えをお聞きします。

**答弁** 歩行者の安全性の確保のため歩道設置は必要です。この部分の道路拡幅に向けて地権者との交渉及び協議を今後とも粘り強く進めていきたいと考えております。

**答弁** 歩行者の安全性の確保のため歩道設置は必要です。この部分の道路拡幅に向けて地権者との交渉及び協議を今後とも粘り強く進めていきたいと考えております。

## 環境美化について

連携をとりながら指導していく

町長

**質問** 木曾岬町にあるヤード、リサイクル資源等、山積みがあります。木曾岬町環境美化条例の第6条、「土地所有者等は、その所有し、占有し、又は管理する土地又は建物に廃棄物が投棄等されないよう必要な措置を講ずるとともに、環境美化及び緑化に努めなければならない」とうたっています。

**質問** 木曾岬町にあるヤード、リサイクル資源等、山積みがあります。木曾岬町環境美化条例の第6条、「土地所有者等は、その所有し、占有し、又は管理する土地又は建物に廃棄物が投棄等されないよう必要な措置を講ずるとともに、環境美化及び緑化に努めなければならない」とうたっています。

**答弁** 町はどのように指導されておられますか。ヤード、リサイクル資源の近くに常時、公園、道路に駐車しています。指導されています。指導されていまして、どのようにされているか、町長にお聞きいたします。

**答弁** ヤードなど周辺の環境美化について事業者土地所有者の責務です。



守っていきたい田園風景

代だけを考えてよいものか。誰でも自分の孫ぐらいまでのことは考えてほしいと思います。

**再答弁** 先般の三重県鈴木知事との1対1対談でも、農地の問題を取り上げました。地権者、農家の農地を持って見える方、土地

を持ってみえる地権者の人たちの考え方、モラル、その地域の区長さん、土地改良区の総代さんとか、その地域の人たちの同意があってこそ、そういうことが始まっていくわけですから、原点のときにしっかりと皆さんが意識を持って自分たちの地域を自分たちでどうしていくのだと、皆さん方に訴えて理解を求めていきたい。

で環境に影響を及ぼすようなことが見受けられれば国・県など関係機関によってご指導をして頂く。状況により各担当所管課においても指導するとともに当該地域の区長さん土地改良区などの関係役員にも相談をさせていただき業者にも強く指導をしていくこととしている。

**再質問** 環境の世代間共有性というテーマがあります。人間は自分たちの世



5番議席 **三輪一雅** 議員

## 木曾岬町の人口ビジョン・ 総合戦略について

動向を注視しつつ、さらに検討  
を重ねていく必要があると考え  
ています

町長

### 質問

日本の人口は2008年をピークに減少へ転じたと言われております。それとともに木曾岬町の人口も減少傾向にあります。しかし、実際の人口動態を見てみると、単なる人口の減少の要因だけではなく、特に若者の都市部への流入が挙げられると思

います。そんな中で国の施策である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、木曾岬町においても「木曾岬町人口ビジョン・総合戦略」がこの3月に策定されたところです。

この総合戦略は4つの基本目標を踏まえ、町の今後の人口ビジョンを計画し基本目標に向けて評価指標も示されており、また、評価指標となる重点事業の設定には、余り目新しさや効果的と思えないようなものも見受けられると感じているところであり

今後5年間で実績を見て

いくことになるわけですが、これらの目標や重点事業はどのような考えのもとに策定されたのかお聞きしたい。

### 答弁

本町の人口は、平成27年をピークに減少し平成27年の国勢調査では6,357人と、平成22年と比較すると、500人近く減少している状況です。まず、男女ともに20〜30

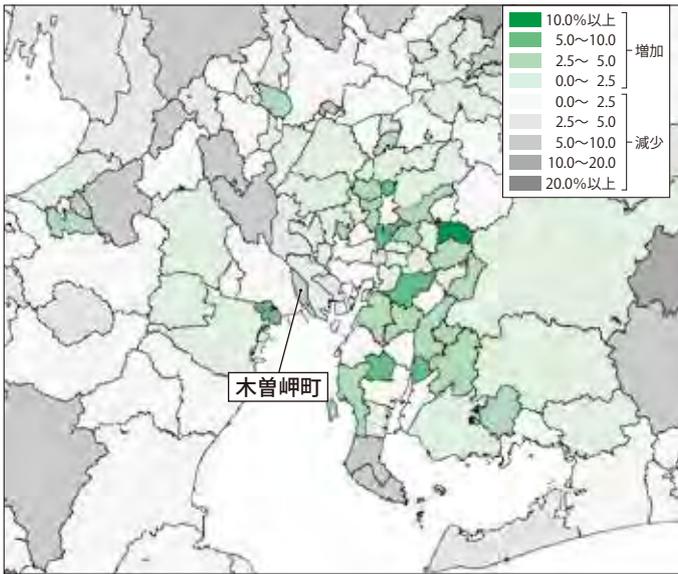
に低くなっており、第3次産業では、町外の企業等に従事している人が多く、第3次産業の育成も課題です。一方、田園や河川などの自然環境、人と人のつながりに評価をいただいております。この点は生かしていく必要がありますが、災害に対する不安感が高く、防災・減災対策も大きな課題です。

歳代前半にかけて転入してくる人よりも町外へ転出する人のほうが多い傾向があり、転出者を実施したアンケートでは、半数前後の方々が結婚を理由にされ、結婚を機に町外へ流出という課題があります。中学生アンケートでは、

将来の定住意向を持つ割合が1割にとどまり、若者が定住したいと思えるようなまちづくりをする必要があります。

重点事業の設定は、これらの現状と課題をもとに、結婚後も町内に住み続けられるような住まいの確保を支援する事業、防災・減災に関する事業などを選定した他に、新たな取り組みとして、若手職員と外部から招いたアドバイザーによる「木曾岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定ワーキング会議木曾岬塾」を組織、若者が定住したいと思えるような魅力的なまちづくりの一環として盛り込んであります。

産業面では、農業等の第1次産業と製造業を初めとする第2次産業の就業者の比率が比較的高いですが、小売業等の第3次産業の就業者比率は、県内で2番目



\*総務省発表(2017.3)過去5年間人口動態地図  
\*木曾岬町は約7.3%の減少

# 議会日誌

## 2016 10月

25日 ● 桑名広域清掃事業組合例月出納検査に伊藤好博議長出席

## 2016 11月

1日～2日

● 全国議長会町村監査委員全国大会研修会に三輪一雅監査委員出席

6日 ● 秋の文化祭(町体育館)に議員出席

7日 ● 議会全員協議会

9日～10日

● 第60回町村議会議長全国大会(東京都内)に伊藤好博議長出席

11日 ● 県関係部長など意見交換会に伊藤好博議長出席

14日 ● 例月出納検査に三輪一雅監査委員出席

14日・15日

● 定期監査に三輪一雅監査委員出席

18日 ● 議会議員研修に(大台町議会へ)議員視察

● 役場閉庁式に議員出席

22日 ● 知事と町長との1対1対談に議員傍聴

23日 ● 菰野町60周年記念式典に伊藤好博議長出席

25日 ● 三重県町村議会議長会 県議会に対する要請活動(津市)に伊藤好博議長出席

26日 ● 議会議員懇談会

27日 ● 複合型施設行政棟落成式に議員出席

## 2016 12月

1日 ● 新成人と語る集いに伊藤好博議長出席

2日 ● 議会運営委員会

3日 ● 第20回中学生の主張大会(桑名市多度町)に伊藤好博議長出席

## 2016 12月

4日 ● 町内一斉清掃活動に議員参加

6日 ● 例月出納検査に三輪一雅監査委員出席

8日 ● 木曾岬町議会第4回定例会(開会日)

9日 ● 中部幼稚園保育園、南部幼稚園保育園クリスマス会に議員出席

11日 ● 海南病院改築竣工式典に伊藤好博議長出席

13日 ● 第4回定例会(一般質問日)

15日 ● 第4回定例会(閉会日)

● 行政視察

16日 ● 社会福祉協議会第3回評議員会に三輪一雅議員出席

29日・30日

● 木曾岬町消防団年末防犯夜警激励に服部美二夫議員、伊藤守議員出席

## 2017 1月

3日 ● 木曾岬神社正月祭に議員出席

7日 ● 木曾岬町成人式に議員出席

8日 ● 平成29年木曾岬町消防出初式に議員出席

10日 ● 議会広報常任委員会

11日 ● 例月出納検査に三輪一雅監査委員出席

17日 ● 議会広報常任委員会

19日 ● 夢とふれあい教育基金運営委員会へ伊藤正教育民生常任委員長出席

20日 ● 桑名広域清掃事業組合臨時会、桑名・員弁広域連合臨時会(共に桑名市)に伊藤好博議長出席

## みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。

また、要望など、どのような内容でも結構です。ご意見、ご質問をお寄せください。

### 提出先

議会広報常任委員会(議会事務局)

TEL 68-6108

### ◆ 政務活動費について

政務活動費は政策の調査・研究等の活動を行うために議会の議員に対して支給される費用です。

木曾岬町議会では政務活動費の定めがなく支給されていません。

## 議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、庁舎2階の傍聴席入口で受付しています。受付は、ご住所とお名前を記入していただくだけです。

### 次回、3月定例会、本会議の予定です。

- 3月 1日(水) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 3月 14日(火) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 3月 16日(木) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合もございますので、お手数ですが議会事務局までお問合せください。

### 問合せ先

議会事務局 TEL 68-6108

# 行政報告

要旨



加藤 隆 町長

ため、この年、中央公民館の隣に老人福祉センターを建設することとなり、その二階に議場、委員会室、会議室等を建築し、昭和58年に中央公民館を改造し新たな役場庁舎としたものです。

11月27日に行いました複

合型施設行政棟の完成記念式典では、町議会の皆様を始め、多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、式典に続き

行いました内覧会にも大変多くの方々にお越しいただき厚くお礼を申し上げます。

このように無事に行政棟の完成を迎えることができましたのは、ひとえに関係者各位のご指導とご支援の賜ものと、改めて感謝を申し上げます。と、改めて感謝を申し上げます。

この式典を経まして木曾岬町役場の新しい歴史の1ページが開かれることとな

ります。新しい庁舎では、

職員共々真に気持ちのこもった仕事を行わなければならぬと改めて思うところがございます。

このようななか、いよいよ旧庁舎の解体工事が始まり、駐輪場や植栽帯が解体されました。10日程先には

庁舎本体の取り壊しとなります。11月18日の閉庁式でも申しあげましたが、今日の輝かしい木曾岬町の歩みと激動の時代を支えてくれた旧

庁舎に感謝の意を込めて、記憶に残るところを申し上げます。行政報告をさせていただきます。

きます。

これまでの役場庁舎は、昭和47年に竣工した中央公民館を転用した施設で、役

場としての業務を始めた昭和58年以來、33年間にわたり、三重県の東の玄関口である木曾岬町の行政の拠点

として、昭和から平成へと移り変わり時代と共に輝く発展を遂げた木曾岬町政の重要な意思決定の場となつてまいりました。

それ以前の古い役場庁舎は、伊勢湾台風後の復旧事業として昭和36年に完成した鉄筋コンクリート造り3階建ての庁舎として建設さ

れ、今の商工会館の隣にあ

りました。が、「新築当時の人口が3千人の規模の庁舎としては広く感じられた。」と記録にあります。

その後、我が国は高度成長時代を迎え、当時の木曾岬町はビニールハウスやガラス温室によるトマト栽培を主体に野菜の一大産地と

して発展し、更には企業誘致と住宅開発が進み、大都市近郊の村としてひととき輝いた時代を迎えた20年ほどの間に人口が増加し昭和

57年には倍の6千人に近づき役場の事務も煩雑となり職員の数も増加し、事務室及び会議室等も狭くなった

。当時は、行政サービスの

範囲が飛躍的に拡大する中、社会の好景気にも支えられ改築事業が進められたと、当時の社会背景などから推察されるところでございます。

昭和58年移転の翌年、昭和59年には人口が6千人となり、桑名市消防署長島木

曾岬分署の開署を契機に消防事務を桑名市消防本部に委託し、平成元年には、村政制定百年を迎え町制施行が行われました。この頃人口は更に急激な増加をたどり7千人を超えました。平

成8年には鍋田川工業団地の造成工事が完成し、四半

世紀に渡る課題でありました木曾岬干拓地の町境が確定しました

また、平成9年には、伊勢湾台風の復興事業として取り組んできました湛水防除事業、土地改良事業等の農業生産基盤の整備に続き、生活環境の整備として全国に先駆け全町下水道化が竣工されております。

平成14年には、桑名市、長島町、多度町、東員町との合併問題が起こりましたが、自立した町を造っていくとの思いで協議会から離脱いたしました。また、平成7年の阪神淡路大震災に続き平成23年に発生した東日本大震災の大災害は記憶に新しいところで、想像を絶するあの惨状は日本中を震撼させました。東海地震の対策強化地域に指定されている当町にとっては深く胸に刻まれる大震災で、緊急の災害対策の必要性を一

層強く思うとともに大きな衝撃でありました。一方、平成26年には待望久しい木曾岬干拓地に78haのメガソーラー事業が運転を開始し土地利用の第一歩が始まりました。

こうしたなか、平成23年3月に機能性の問題や不足する耐震性等から、防災拠点を中心とした新庁舎建設が必要であるとの判断をいたしました。

木曾岬町の輝かしい歩みと共に町民の皆様、議員の皆様も多くのお思い出や苦難の歴史が刻み込まれた、この庁舎が取り壊されることは、胸にせまるものがあるかと存じます。また、私や職員に取りましても長年慣れ親しんだ庁舎であり感慨無量であります。

33年間にわたる庁舎の長い歴史に幕を閉じることになりましたが、これまで町

の発展にご尽力された先人の思い、これからの木曾岬町に期待する多くの住民皆様の思いを胸に、新しい庁舎が、新たな行政拠点として木曾岬町の輝かしい未来を築いていく礎となることを願うものです。

次に、「将来の地域人材育成に向けて」でございます。

私は、今年度の総合教育会議において、将来を担う子どもたちの姿に迫っていくためには、具体的にどんな手立てや施策を展開していったらよいかを教育関係者に議論していただきました。人材育成は、今後のまちづくりにおいて、欠かすことのできない重要な要素であります。子どもたちが将来の木曾岬町のコミュニティを担う後継者としてしっかりと育っていつてもらうことを期待していると

ところで。

折しも、本町では今年度より、幼稚園・小学校・中学校において、コミュニティ・スクールを導入いたしました。コミュニティ・スクール制度とは、「学校運営協議会」が設置され、保護者や地域住民が一定の責任と権限をもって幼稚園・学校運営に参画するというもので、これまでの「開かれた学校づくり」から「地域とともにある学校づくり」の転換を図り、地域との協働へ一歩踏み込んだ形の園・学校づくりを推進するものであります。

保護者・地域の皆様からのご支援という意味では、これまでも多く保育・学習場面でお力添えをいただいているところですが、今後はさらに学校と地域がともに手を取り合い、将来のまちづくりを視野に入れた人材育成を図っていく必要が

あります。

現在の一例を申し上げますと、大学とのコラボレーションにより地域人材育成プログラムに関する研究事業を立ち上げ、中学生が木曾岬町の魅力をより深く理解できる仕組みづくりを行い、モデル化する取組を進めているところであります。このように少しずつではありますが、実際に地域に出かけ、本町の実情を踏まえた生きた教材に触れ、将来の木曾岬町を考えていくことは大きな意義があると考えています。

今後も教育委員会と連携しながら、地域の発展に向けた人材育成に努めてまいります。

以上のことを申し上げます。平成28年第4回定例会にあたっての行政報告とさせていただきます。



～地方創生の実現をめざして～

## 町村議会議長全国大会が開催されました

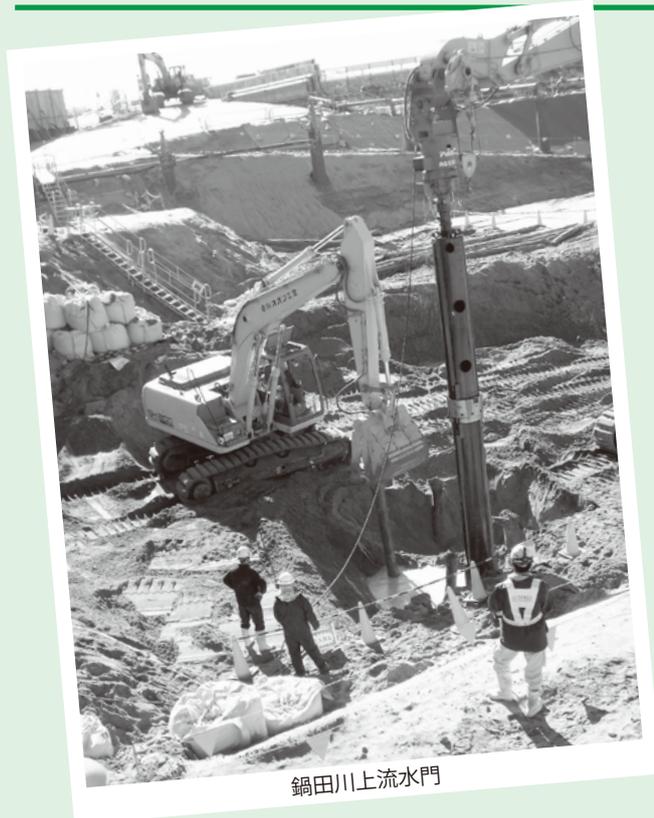
11月9日、東京都渋谷区の「NHKホール」で、第60回町村議会議長全国大会が開催され、伊藤好博議長が出席しました。

この大会は、「国の景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、少子・高齢化や過疎化、本格的な人口減少社会が到来し、多くの町村においては、厳しい経済・雇用情勢に悩まされ、地域の活力は減退している。加えて、東日本大震災と熊本地震による影響は、被災地のみならず我が国社会全体におよび本格的な復旧・復興に向けて解決すべき課題が山積している。今こそ、国と地方が一体となって、本格的な復旧・復興への取組みを加速化させるとともに、人口減少の克服と地方創生を実現するために、町村の自治能力を高め、都市と農山村が「共生」しうる社会を強力に進めていくことが重要であり、地方創生こそが一億総活躍社会実現のためのメインエンジンであり地方創生に向けた大きな流れは緩めてはならない。地方創生なくして一億総活躍社会の実現はない。地方創

生の実現をめざし、一致結束して果敢に行動していくこと」を確認し、また、「東日本大震災からの復興及び大規模災害対策の確立」「分権型社会の実現と道州制導入反対」といった大会決議17項目の採択と「町村税財源の充実強化」「地方議会議員の厚生年金制度への加入実現を求める」などの特別決議5項目を採択し、終了しました。



## 行政視察を実施しました



鍋田川上流水門

12月15日(木)、木曾岬町議会第4回定例会の閉会后に、行政視察として国土交通省直轄事業の「鍋田川上水門」及び「防災ステーション」建設現場を視察しました。

鍋田川上水門においては、伊勢湾台風後の災害復旧当時に基礎杭して使用された木杭の引抜き作業や来年度完成を予定する防災ステーションの盛土を確認しました。



防災ステーション

## 議員視察研修を実施しました

11月18日(金)議員研修を実施しました。

今回の研修は「議会改革」を主体として、三重県の町で唯一「議会基本条例」を制定している大台町議会を視察しました。

当日は、大台町へ行く道中の道の駅「かわげ」及び「奥伊勢おおい」の駅長さんに道の駅の運営方法などを聞き、それぞれの駅長さんの特色ある運営や方針をお聞かせ頂きました。「その地域を歩けばそのブランドになる品物は必ずある。」あまり、普通にあり過ぎて、気が付かないので、それを、掘り起こす事が大事だと痛感しました。

大台町議会では、大西議長、西山事務局長さんより「議会基本条例の策定に当たるまでの期間と経緯」「議会議員政治倫理条例を作られたきっかけ」「町民と議会との関係」についてをお聞きしました。

大西議長さんから「議会基本条例や議会議員政治倫理条例の策定に当たり、議員をその気にさせるのは、議長の役目、条例の内容は事務局主導で策定し、その内容を議員全員で討論、検討をして作り上げる。それには、相当な時間とエネルギーを掛けている。」との説明があり、西山事務局長さんからは条例の逐条解説の説明を受けました。また、「町民と議会との関係」については大台町議



会が行っている「議員の出前懇談会」の説明を聞き今後、当議会での検討課題として持ち帰りました。

議会としてはこの研修を機会に「木曾岬町議会議員政治倫理条例」の策定に議員全員で取り組むことを11月の議員懇談会で決め、3月の定例会で発議できるように現在策定中です。一步一步、「開かれた議会」を目指して全議員が日々邁進しております。

### 「木曾岬町議会議員政治倫理条例」(案)パブリックコメント募集

木曾岬町議会では議員の政治倫理についての基本的事項を定めた、「木曾岬町議会議員政治倫理条例」の作成にあたり、町民の皆さんより意見を頂きます。

「木曾岬町議会議員政治倫理条例」(案)は議会ホームページ又は議会事務局で閲覧出来ます。

様式は問いませんので「木曾岬町議会議員政治倫理条例」に対してご意見をお寄せ下さい。

●議会URL [http://www.town.kisosaki.lg.jp/soshiki\\_view.php?so\\_cd1=8&so\\_cd2=6&so\\_cd3=0&so\\_cd4=0&so\\_cd5=0](http://www.town.kisosaki.lg.jp/soshiki_view.php?so_cd1=8&so_cd2=6&so_cd3=0&so_cd4=0&so_cd5=0)

## 編集後記

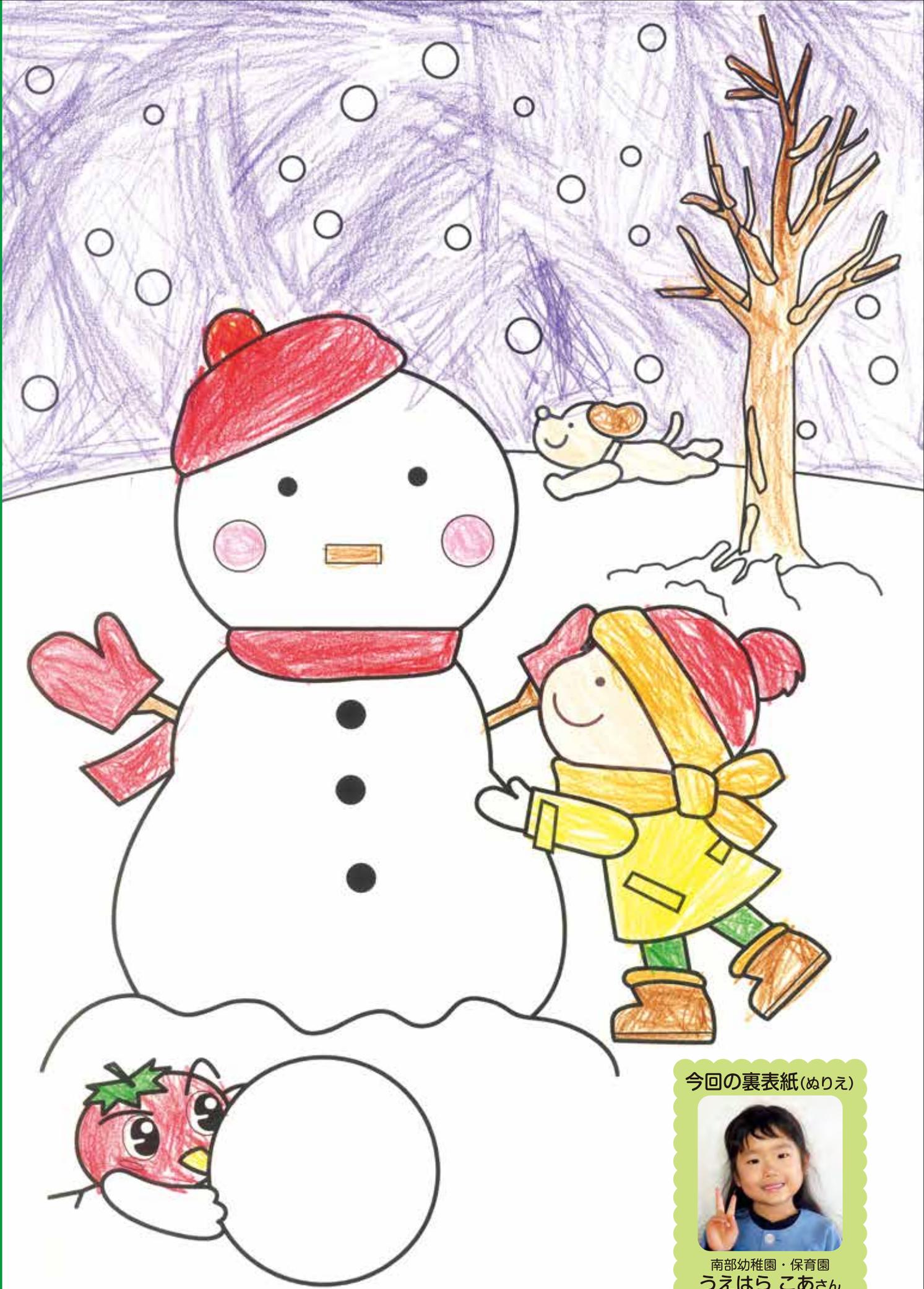
消防出初式が1月8日小学校校庭でありました。寒空の下80余名の消防団の皆さんの活動を見させて頂きました。

町は防災対策を最重要課題の一つとして取り組んできています。新庁舎の複合型施設は防災拠点であると共に高台避難施設を兼ねています。他にも小・中学校、鍋田川下流ポンプ場の屋上に上がる外付け階段があります。今一度調べていざというときに備えておいてください。

ここに、第90号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想などをお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





発行／三重県桑名郡木曾岬町議会  
編集／議会広報常任委員会

〒498-8503 三重県桑名郡木曾岬町大字西対海地251番地  
☎(0567)68-6108(直通) FAX(0567)66-3111  
E-mail: gikai@town.kisosaki.lmie.jp

今回の裏表紙(ぬりえ)



南部幼稚園・保育園  
うえはら こあさん  
の作品